

[illegible]

當省厰於三時計終矣之我王船中二
千七百三十號之三不備乃軍需其常當直
馭者餘亦正名分進退同業差出外之別紙
之知了之易分中出右刑事之涉之廿九元之存
之需分分何分之分核擇之之於以物上
申候也

主 昭 岡 初 長

壬午十月六日

海軍權盡沒石川利邦

海軍以楊本武揚殿

秘入第三五七號

百一十五

新官

中務

長官

副官

課長

課長

課長

課長

課長

前書より義と刑事とを解義より極とす
中務令了成り成りなり

按

上申之趣其義及ハサル者本人より申上

明治十三年十月九日

0750

神等七るナナ号

取者進退伺ふ我ヤ出

の我し通す取者鈴木石進退し我
伺出衆衆の此は所分主事役者伺主事
以書上申候也

神等譯寫長

ナナ号ナナ号

池尾二号所

主取者寫長

権大之丞及下司利好殿

海
軍
律

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
<http://www.jacar.go.jp>

進退伺

新義

去ん二十方常直し節誥所より傳りて
 八角時計を若松決仕次方別紙に
 以届仕方を以てしは有ハ其夕以ふは
 之新深くも上へ依之進退に
 河を心持し然れども伺ふ也
 五等取替
 明徳寺より九月二十日
 鈴木正房

三
馬
神
氏
氏

0754